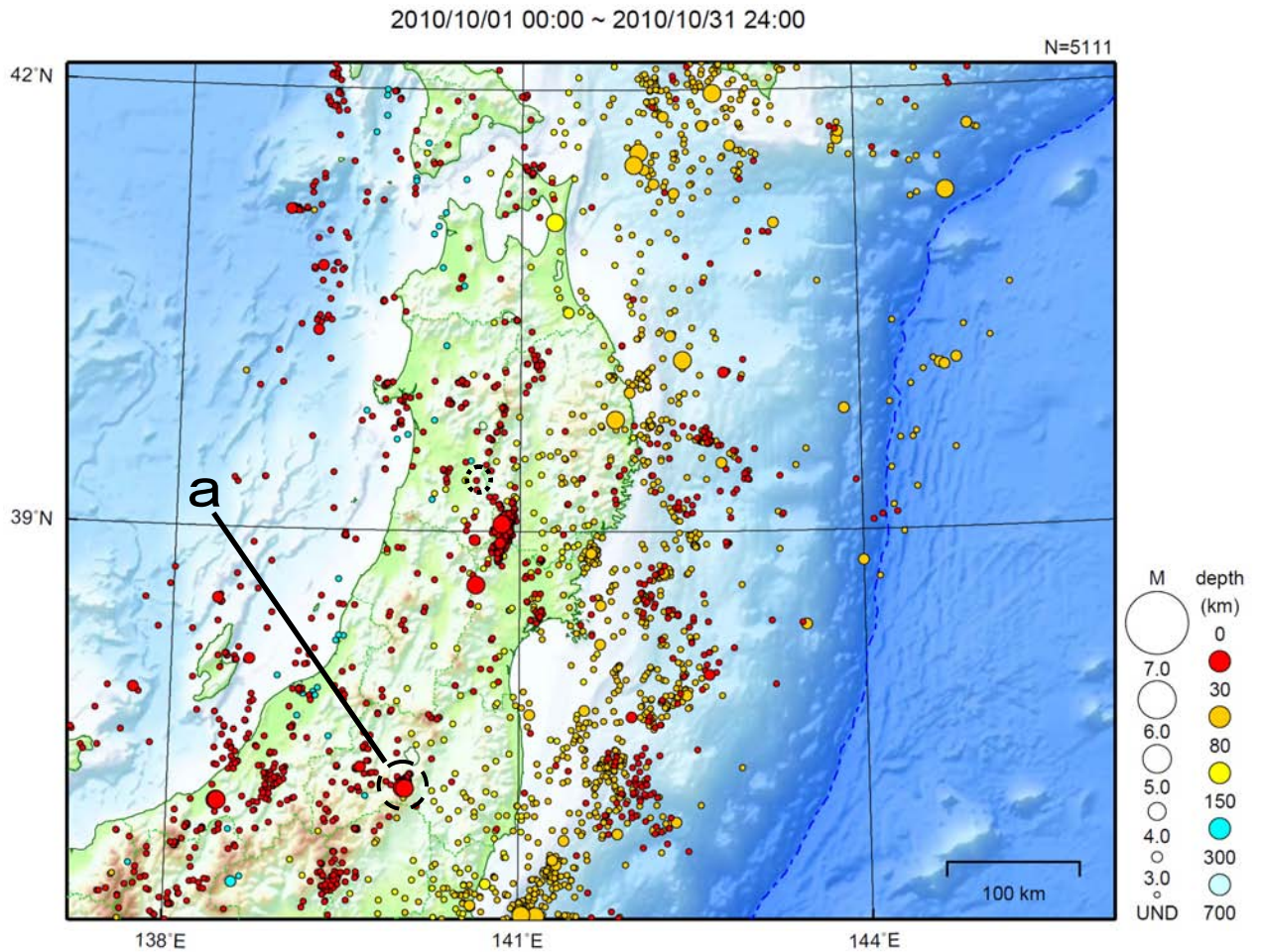


東北地方



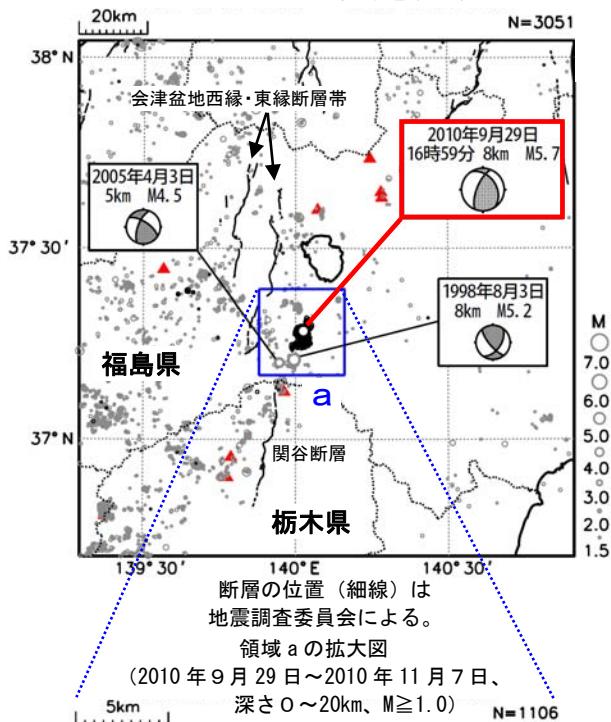
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

a) 福島県中通りで9月29日から続いていた活発な地震活動は、徐々に減衰している。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

福島県中通りの地震活動

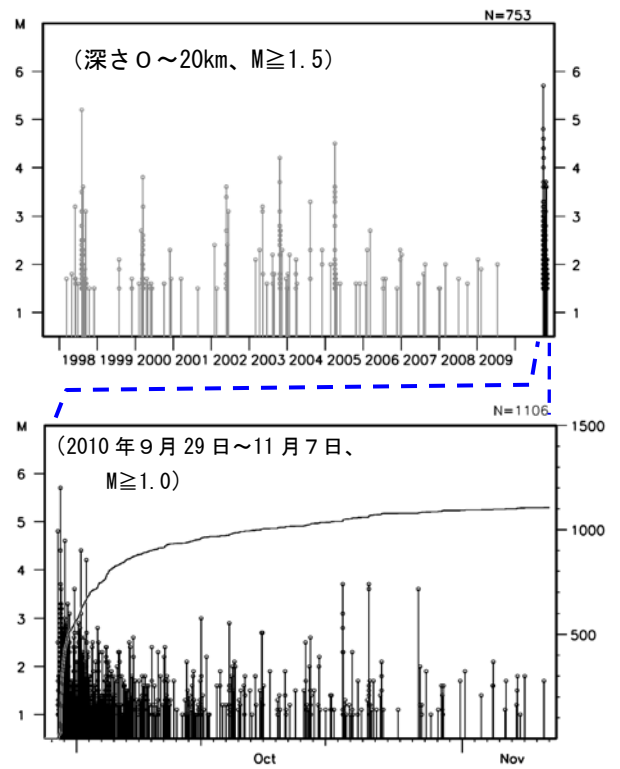
震央分布図 (1997年10月1日~2010年11月7日
深さ0~20km, M \geq 1.5)
2010年9月以降の震源を濃く表示。



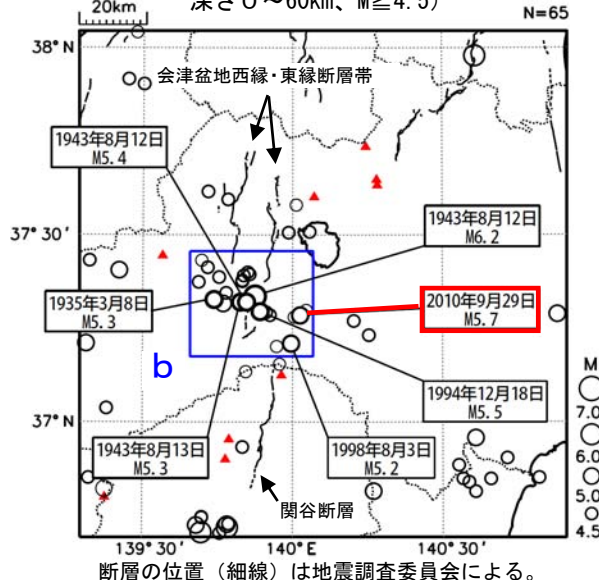
2010年9月29日から福島県中通りでまとまった地震活動が見られている。今回の活動における最大の地震は9月29日16時59分に発生した M5.7 の地震 (最大震度4) で、発震機構は東西方向に圧力軸を持つ型であった。同日12時01分に M4.8 の地震 (最大震度3) が発生した後、M4.0 以上の地震が5回発生するなど活動は活発で、10月中では1日08時24分に M4.4 (最大震度3) の地震が発生した。その後、活動は徐々に減衰している (11月7日現在)。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 a) はまとまった地震活動が見られるところで、1998年8月3日に M5.2 の地震 (最大震度3) が発生している。

領域 a 内の地震活動経過図、回数積算図



震央分布図 (1923年8月1日~2010年10月31日、
深さ0~60km, M \geq 4.5)



1923年8月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 b) では、1943年8月12日に M6.2 の地震が発生し、住家の壁落ちや小規模なけがれ崩れなどの被害が生じた (「最新版 日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の地震活動経過図

